



学力向上は、学校と家庭でしっかり復習すること

古来「学習とは反復の訓練である」と言われてきました。2つの例を挙げて説明します。

まず一つ目です。ピアノを習った経験のある方は多いと思いますが、ピアノの練習は単調なものです。最初は引っかけりながら弾いていたものを何度も何度も練習を繰り返して、だんだんスムーズに弾けるようになります。スムーズに弾けるようになっても、それで終わりではありません。そこに情感をのせたり、表現を加えたりするのです。(スポーツでも同じことがいえますね)

このことは、ピアノに限ったことではありません。学習でも同じです。たとえば、計算では一回正解したからといって終わりではありません。できるだけスムーズに計算ができるようになるために繰り返し練習が必要なのです。

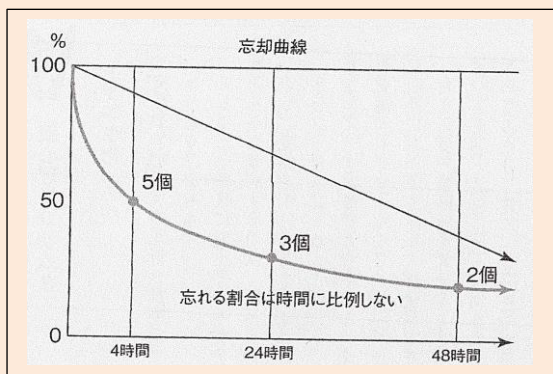
次に脳科学の観点から説明します。

ヒトの脳の記憶の保存場所は「大脳皮質」です。脳のハードデスクです。つまり、覚えた知識をたくわえておく場所です。脳のハードデスクの容量がどれほどあるかは正確に分かっていませんが、今見たり聞いたり感じたりしている全情報を全て入れたらわずか数分でパンクしてしまうだろうと推測されています。そこで、脳は、必要な情報は何かを判断し必要なものだけを大脳皮質に保存するのです。(逆に、脳は、できるだけ早く多くのことを忘れるように設計されている。)その仕分けをするのが「海馬」です。

脳に記憶してもらうためには、海馬に、「必要なもの」として仕分けをしてもらわなければなりません。海馬に必要だと認めってもらうためには、ひたすら誠実に何度も何度も繰り返し情報を送り続けなければならないのです。すると海馬は、「そんなにしつこくやって来るのだから必要な情報に違いない」と判断してついに大脳皮質に情報を通過させるのです。

こんな実験例があります。10個の単語をどれくらい長い時間覚えていられるかの実験です。

下の2つのグラフは、単語がどのようなスピードで忘れていくかを調べたグラフとその後復習を2回、3回としたときのグラフです。忘却曲線と呼ばれています。



【上のグラフ】

忘れるスピードは一定ではなく、覚えた直後が最も忘れやすく、はじめの4時間で一気に半分くらい忘れる。

24時間後は、覚えている数は3個から4個であるのが普通である。48時間後では2個から3個ぐらいである。

【下のグラフ】

しかし、復習を2回・3回とすると忘れにくくなるという結果である。実は、忘れていた単語は、脳から完全に消されてしまったわけではなく、ただ思い出せなくなっているだけで、無意識の世界にしっかりと保存されている。

学習を繰り返した場合には、無意識のうちに保存されていたものを思い出させることになり、テストの成績を上昇させる。だから、学習を繰り返すとまるで記憶力がアップしたように見えるのだ。

※「脳受験の作り方」新潮文庫 池谷裕二著から要約

このことから、勉強において、何度も繰り返すこと、つまり「復習」がいかに大切であるかがよく分かります。復習すれば忘れる早さが遅くなるのです。

だから、「学習とは反復の訓練である」なのです。ご理解いただけただけでしょうか。学力向上のために学習したことを学校と家庭でしっかり復習することを心がけたいものです。

1月12日付け配付の「家庭学習の手引き」を活用してください。小中一貫教育事業です。

※「脳受験の作り方」池谷裕二著新潮文庫、「1日10分」家庭学習の習慣 西村則康著 実務教育出版参照

今年度最後の「読み聞かせの会」 1年間ありがとうございました

21日(木)今年度最後の「読み聞かせの会」となりました。子ども達は、読み聞かせを楽しみにしており、今回も目を輝かせながら静かに聞いていました。

読み聞かせが終わると、どのクラスからも「楽しい本の読み聞かせをしていただきありがとうございました。」と、図書ボランティアの方々への感謝の言葉がありました。

良質な本は子どもの心を豊かにしてくれます。これからも本の世界にじっくりと浸る時間を大切にしたいと思います。

学校図書ボランティアの皆様方、1年間を通して楽しい本の読み聞かせをありがとうございました。お世話になりました。

今年度の須二小図書ボランティアの皆様です。

赤井田仁子、小野忍、熊田ゆき、今野奈緒美、佐山律子
鈴木寛子、添田和香子、深谷ひろみ、町田功実江、松井美香
松田照美、宗像礼子、荒川文子、市村宏子 敬称略



6年生の「落語を聞く会」 真打登場！ 松明家五老介師匠！

江戸時代の日本で成立し、現在まで傳承されている伝統的な話芸「落語」に造詣が深い本校PTA会長菊地大介様(松明家五老介様)をお迎えし、6年生の国語の授業として「落語を聞く会」を行いました。お題目は、「時そば」と「初天神」のお話でしたが、小気味よい言葉のテンポ、表現のおもしろさに夢中になった楽しいひとときでした。



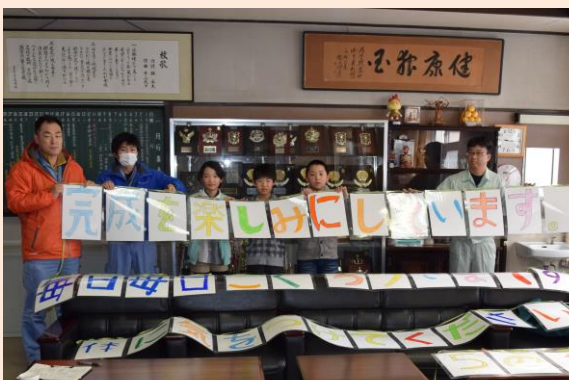
松明家五老介さんへ 6年2組 鈴木理央

昨日は、落語を教えてくださいありがとうございました。私は初めて目の前で落語を聞きました。「時そば」のとき「めん」をすすする音が本当にすすっているように聞こえてきて、どうやったらあんなに上手にできるんだろうとびっくりしました。

次の「初てんじん」でも子供の声・お父さんお母さんの声など一人で何人もの役をできるって本当にすごいなと思いました。落語はずっと聞いていてもあきないし、おもしろかったので、また、落語を聞いてみたいです。

感謝の気持ちを伝える

5年1組は、道徳の時間の「感謝の気持ちを伝えよう」という学習で、新校舎を作ってくれている人たちへの感謝を込めたメッセージを作成しました。内容は「毎日毎日ごろうさまです」「体に気をつけてください」「完成を楽しみにしています」の3文です。25日(月)校長室において5年1組の生田目藍斗君、中島直也君、渡辺瑞季さんが現場代理人の高橋朝也さん他2名の方に手渡しました。



第55回新春書道展席書大会

9日(土)須賀川アリーナで、須賀川市子ども育成会主催新春書道展席書大会が行われました。二小からも多くの参加者がありました。

市長賞

渡辺蒼唯(2年)

市文化団体連絡協議会賞

佐藤詩(3年)

推薦

渡辺瑞季(5年)

金賞

松井彩華(1年)

寺澤咲輝 木船ひかる(2年)

鈴木優衣(3年)

大竹奏里 菅原まひる

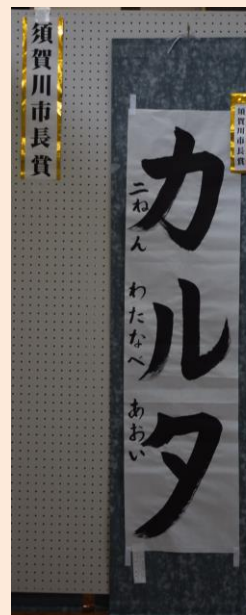
馬場晶珠、荒井愛琳(4年)

山本香澄 阿部未侑

松井遥登 寺澤璃咲(5年)

長場由芽 根本京次郎

薄井智子 鈴木理央(6年)



市長賞を受賞した渡辺蒼唯さんの作品↑